

所 属 鳥取県漁業協同組合（御来屋支所）
氏 名 はしもと よしみつ
橋本 喜光（36歳）
船 名 きくまる
喜久丸 4トン
漁業種類 刺網（アジ・サワラ・ハマチ・ヒラメ）、遊漁



～第5代「喜久丸」船長がここに誕生～

長年に渡り御来屋の漁業を中心となって担ってきた「喜久丸」が、平成29年6月に新船に生まれ変わり、父の喜久男さんから喜光さんに引き継がれた。現在は喜光さんがこの船の船長で、喜久男さんが同乗する親子乗りで操業している。橋本さんは一度は調理師を志し、都会へと勉強しに行っていたが、やはり漁師のお父さんの姿に憧れを抱いていたのだろうか。地元に戻って漁師になることを決意した。

刺網漁法でサワラ・ハマチ・アジ・ヒラメを中心に漁獲し、夏前から秋にかけては弟の有喜さんと同様に遊漁船業も兼業で行い経営の安定化を図っている。

赤碕や淀江の若手漁業者同士仲が良く、漁場の情報や新たな漁法に関する情報を交換し、日々研究熱心だ。「鳥取の漁業がもっと活気づくよう今後も努力していきたい」と穏やかな表情の中にも力強い意志を感じ取ることができた。

～兄弟の強い絆で苦難を乗り越えた～

子供の時からお父さんの船で兄弟揃って一緒に手伝いをしてきた橋本兄弟。とても仲が良く、辛い時や苦しい時も悩みを相談し合いながら成長し、今では御来屋の漁業を担う兄弟船として注目されている。

いつ、どこで、何が獲れるか情報を互いに共有することで効率的に漁を行うことができるため、今後の活躍が期待される。

（文責：藤原 大吾）